

経営学科

POINT 1



基礎・標準・展開

1年次に基本経営学と入門簿記、2年次に経営基本管理の必修講義科目を用意。丁寧な授業で基礎を固め、多様な業種・職種に通用する標準的な内容を学びます。さらに、さまざまな専門科目へ学習を展開する手がかりとなる知識を修得します。

POINT 2



フィールドワーク

毎年、複数のフィールドワークを開講。ニューヨークでファッションやアート関連のビジネスの現場を体験、インドネシアで国際協力活動に参加など、現場に臨み、人々と交流し、教室で得た知識を確かめ、理解を深めます。

POINT 3



簿記・会計・金融・為替・暗号資産

企業の財政に関わる技術体系・学問体系である簿記・会計学の領域には、入門簿記をはじめ充実した科目群を用意。また金融ビジネスや国際財務、暗号資産など多様な側面からおカネを学びます。

POINT 4



地域連携・産学連携

地場産品を構想・製造・販売する地域振興や企業の新規事業・商品開発に深く関わり、経営学、簿記・会計学、ICTを実践的に学習。地域や企業の方々とともにプロジェクトに取り組むという自覚と主体性が求められる授業です。

履修スケジュール

(1年次前期の場合)

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	英語			英語	入門簿記	
2		コンピュータ	ビジネス・コミュニケーション	ゼミナール1	情報と現代	
3	地球環境問題の科学	基本経営学	マーケティング論	スポーツ文化	スポーツ社会学	経営学科の知の体系
4				キャリアデザイン		
5						

■ 専門科目 ■ 共通教養科目 ■ 外国語科目 ■ 自由履修科目(講義バイキング)

卒業に必要な単位

(合計124単位以上)

	小計	合計	
共通教養科目	20単位	124単位	
外国語科目	4単位		
専門科目	必修科目		10単位
	ゼミナール		16単位
	選択専門科目*		38単位
自由履修科目(講義バイキング)	36単位		

*キャリア開発科目4単位を含めなければなりません。

**経済学科専門科目22単位までを含めることができます。

PICK UP



香山園プロジェクトでのプレゼン



ゼミナール

経営学科

1年次

大学生としての学習・生活基盤を確立

「ゼミナール1」の担当教員が、一人ひとりの学生に対し、めざすキャリアに応じてどのような授業を履修すべきかといった学習面から、生活面にいたるまでをサポート。1年次には、経営学科の学びの3領域である経営学、簿記・会計学、ICTの基礎を学ぶとともに、実践的なビジネス・スキルの習得をめざします。

2年次

多様な領域で専門的な学習を開始

「ゼミナール2」では、3年間同一教員のもと、同じ仲間と行う研究と学習がスタート。人間関係を確立する大切な1年です。卒業論文や就職活動について、先輩ゼミ生から有意義なアドバイスを受けることも可能。3領域の専門的な学習とともに、共通教養科目などを通じた幅広い知識の習得をめざします。

3年次

学内外で実践的学習を展開

「ゼミナール3」を中心に、引き続き専門的な研究・学習を行います。地域連携活動・産学連携活動、複数大学参加のコンテストや報告会を通じ、学習成果を学外において実践的に確かめていくクラスもあります。さらに、フィールドワークやインターンシップを通じ、ビジネスの現場を実践的に学んでいきます。

4年次

卒業論文の執筆とキャリアの実現

「ゼミナール4」では、4年間の学びの集大成「卒業論文」の執筆だけでなく、ゼミナールの最上級生として後輩の指導にもあたります。縦・横のつながりの中にも学ぶ経験は、就職活動だけでなく、社会人生活にも生きるもの。卒業に必要な単位の修得後も学びを続け、幅広く知識を吸収します。

学科専門科目	1年次	2年次	3年次	4年次						
必修科目	ゼミナール	●ゼミナール1(ビジネスキャリア基礎)	●ゼミナール2 [ゼミテーマ] ●地域経営論 ●メディアビジネス論	●ゼミナール3 ●テクノロジーマネジメント ●ビジネス・コミュニケーション ●産学連携実践論	●ゼミナール4 ●国際ビジネス論 ●企業論 ●管理会計 ●基本経営学					
	経営学の基礎科目	●基本経営学* ●入門簿記*	●経営基本管理*							
	キャリア開発科目	選択専門科目のうち、とくに学生のキャリア開発に資する科目をキャリア開発科目としています(科目名の前に★がついています)。卒業までに4単位以上の履修が必要です。								
選択専門科目	経営学系科目	●企業論 ●マーケティング論 ●現代流通論 ●★ビジネス・コミュニケーション*	Pick Up授業 ●国際ビジネス論 担当教員は日本語・英語・朝鮮語のトリリンガルでMBAホルダー。グローバル企業で働くうえで必須となる国際的な経営戦略に関してケーススタディを重ねて学んでいきます。また、出身国やエスニシティ、種々の属性において多様な人々が協働するグローバル企業における異文化マネジメントについても学習します。経営戦略という企業の論理が貫徹する領域だけでなく、「Occupy Wall Street」に象徴されるグローバル・ビジネスをめぐる倫理的な課題も紹介し、解決策を議論します。	●経営行動の論理と理念 ●組織論 ●★自己開発論 ●マーケティング・リサーチ ●国際ビジネス論	●経営史 ●人事マネジメント論 ●★キャリア形成論	●経営文化論 ●金融ビジネス論 ●★職業選択論	●イノベーション論 ●会社法 ●★企業研究(業界研究)	●競争戦略論* ●職業指導 ●★ビジネスデザイン	●経営戦略論* ●アジアビジネス論 ●マーケティング・コミュニケーション	●グローバルマーケティング論 ●中小企業論
	簿記・会計学系科目	●基礎簿記* ●電子会計(初級)* ●電子会計(中級)* ●入門簿記演習* ●★基礎簿記演習	●商業簿記* ●会計学* ●★商業簿記・会計学演習* ●★工業簿記・原価計算演習*	●労働法 ●組織開発論 ●組織行動論 ●NPO論 ●★リーダーシップ論 ●★経営者論	●財務管理論* ●会計監査* ●管理会計* ●経営分析* ●工業簿記* ●原価計算* ●財務会計* ●税務会計* ●リスク・マネジメント ●国際財務論					
	ICT系科目	●コンピュータ* ●★コンピュータリテラシー基礎* ●★コンピュータリテラシー応用*	●情報の基礎(情報社会論) ●メディアビジネス論基礎	●情報デザイン論 ●★情報処理技術論* ●経営情報システム論 ●情報ネットワーク・システム ●情報メディア産業論 ●メディアビジネス論応用 ●データベース論基礎* ●データベース論応用*	●生産システム論 ●テクノロジーマネジメント ●意思決定の科学 ●知的財産権法* ●組織コミュニケーション					
	フィールドワーク/インターンシップ		●★フィールドワーク	●インターンシップ						
	総合領域系科目	●経営学科の知の体系 ●環境マネジメント ●観光ビジネス論 ●TOEIC入門*	●地域経営論 ●スポーツツーリズム論	●TOEICスピーキング・ライティング*	●スポーツビジネス論 ●スポーツメディア論 ●★ベンチャー起業論 ●★産学連携実践論	Pick Up授業 ●産学連携実践論 この授業では、企業と連携したプロジェクトに取り組みながら、経営学を実践的に学びます。地域活性化のアートプロジェクトや、ラテアート対決のイベント企画・運営といったさまざまな現場での体験により、実践的なビジネス能力を身につけることができます。				
卒論テーマの例	●サッカー日本代表戦の集客要因 ●大学生のInstagramの利用状況と今後の可能性 ●インターネットを利用したインドネシアの日本人観光客の動向に関する調査 ●日本のスマートフォン市場の展望 ●フェアトレードのビジネス化の要件と機能に関する一考察 ●新規ビジネス提案 Green Clean ●新たなコンビニスイーツの商品企画	●Apple社の製品開発戦略に関する研究ー機能とデザインの関係性を中心としてー ●SNSが私達の生活にもたらすもの ●自動車メーカー(販売店)のブランド・イメージに関する研究 ●フェアトレードに関する研究 ●無印良品の経営改革								

共通教養科目
外国語科目

*のついた科目は、各種の検定試験・資格試験の出題範囲の全部または一部をカバーするものです。